

東城支所

地域の生活交通を維持

東城地域廃止代替バスの車両更新



更新する車両と同型の車両

東城町内では、備北交通(株)の29人乗りのバス4台が、それぞれ「日野原線」「小奴可線」「保田線」「始終線」の4路線、各地域とJR東城駅間を、土日と祝日を除き1日4往復運行していました。

このバス車両の老朽化により、同社は1台を廃止し、新たに2台の四輪駆動10人乗りのバスを整備しますが、内1台は、本年度、市の補助により購入を予定されています。

先駆けて、同社が自費購入した新しい車両が、6月3日から、「始終線」1日3往復、「日野原線」1日1往復運行しています。

これまでの29人乗りのバスと同様に青と白とミントグリーンに塗装され、「PASPY」や「Suica」などのICカードに対応したカードリーダーを搭載しています。(チャージはできません。)

今後、東城の生活交通車両として活躍しますので、ぜひご利用ください。

農業振興課

ブランド力向上のために

地理的表示保護制度 (GI) に申請中の「比婆牛」が公示!



地理的表示保護制度 (GI) に登録申請している「比婆牛」

あづま葛振興会が、農林水産省に地理的表示保護制度 (GI) の登録申請をしていた「比婆牛」が、5月20日付で公示されました。8月20日までの3カ月間、農林水産省のホームページなどで公示され、その後、学識経験者の意見聴取が行われる予定で、年内の登録を目指しています。

この制度は地域で育まれた農林水産物・食品などの地域ブランドを守るために、平成27年6月1日から始まった国の制度で、次のようなメリットがあります。①地域ブランド製品として差別化が図られる②品質を守るものだけが市場に流通する③訴訟などの負担なく自分たちのブランドを守ることができる④日本の地域ブランド製品の海外展開に寄与する。

この制度を有効に活用することによって、地域ブランドの適切な保護が可能になり、ブランド力の向上が期待できます。

比和支所

記念イベントで笑顔がいっぱい

比和温泉施設あけぼの荘・比和高齢者冬期安心住宅 1周年記念イベント開催



まちなかで気持ちよくノルディックウォーキング

あけぼの荘リニューアル1周年を記念して、5月29日、比和町のまちなかで「ぶらりまちなかあるき・まちなかノルディックウォーキング」を開催しました。

晴天に恵まれ気持ちの良い気候の中、参加者は自然豊かな比和のまちなかでノルディックウォーキングを楽しみました。

当日は、クロモジなどの山野茶、JA女性部と比和小学校3・4年生による比和そばを使ったクレープと、酒米の甘酒、男性いきいき講座のメンバー6人による野菜たっぷりドライカレーなどが振るまわれました。また、体力診断のコナーもあり、心と体が元気になる、笑顔あふれるイベントとなりました。

今後、あけぼの荘や比和のまちなかから、元気を発信していきます!



あけぼの荘館内の様子



手分けしてカレーをつくる講座のメンバー



小学生のおもてなし